



居宅介護支援事業についての調査のまとめ

日ごろから、介護保険事業の推進に御協力いただき、厚くお礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症への対応につきましても、ご理解ご協力いただきありがとうございます。

さて、先日居宅介護支援事業所の皆様にご回答いただきました「居宅介護支援事業についての調査 新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響について」の結果をお知らせ致します。この調査結果をもとに今後の課題把握や介護保険事業の運営について検討していきます。

1 居宅介護支援事業についての調査

- 対象時期 令和2年3月～4月
- 調査対象 茨木市内居宅介護支援事業所 76か所
- 調査内容 1 新型コロナウイルス感染拡大に伴うケアマネジメント業務への影響について
2 新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用者への影響について

2 集計結果

1 新型コロナウイルス感染拡大に伴うケアマネジメント業務への影響について

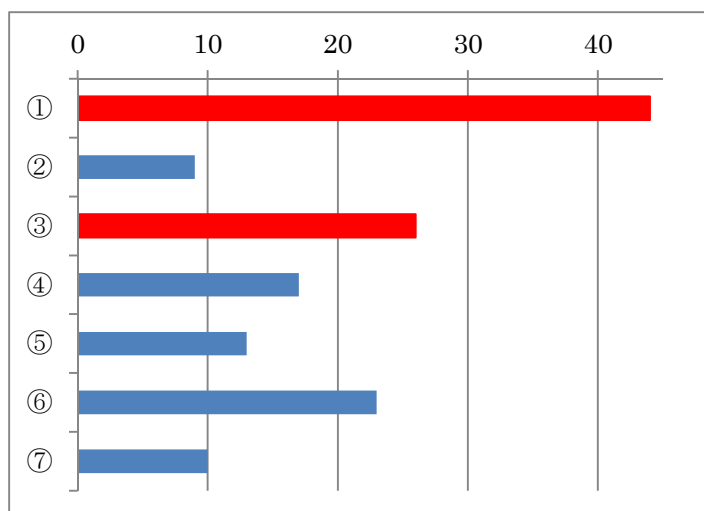
- (1) 感染拡大防止の観点から、モニタリング訪問やサービス担当者会議を電話等の代替手段で行った割合

	3月	4月
モニタリング	11.2%	35.1%
サービス担当者会議	24.1%	1.8%

一見低く見えますが、実際は「短時間」「最小限の人数」等通常通りには実施できなかったケースが多いようです。

- (2) 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ケアプランを変更したケースの変更内容

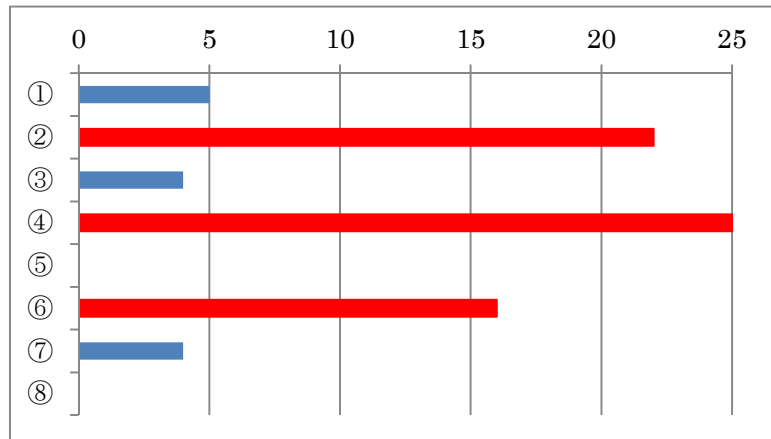
- ①サービス提供回数や時間を減らした
- ②同じサービスで事業所を変更した
- ③他のサービスに切り替えた
- ④通所系サービス事業所が居宅を訪問してサービス提供を行っている
- ⑤通所系サービス事業所が電話による利用者の確認を行っている
- ⑥特になし
- ⑦その他



2 新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用者への影響について

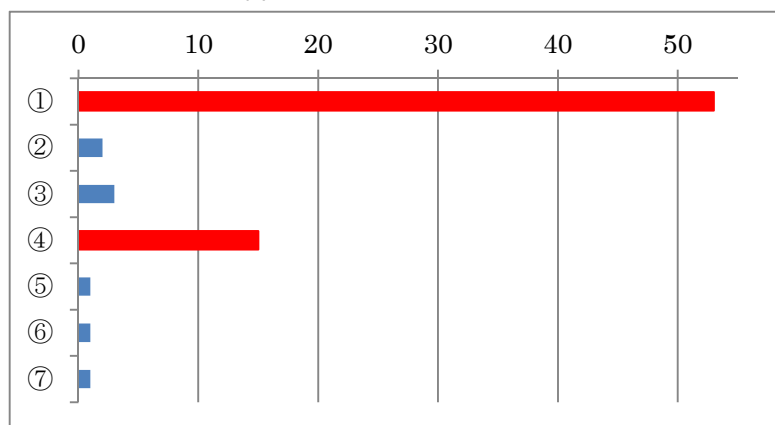
(1) 新型コロナウイルス感染拡大によると思われる利用者の心身の変化はどのようなものがありましたか。

- ①意欲低下
- ②精神的に不安定
- ③認知機能の低下
- ④感染不安の訴え
- ⑤食欲不振
- ⑥身体機能の低下
- ⑦特になし
- ⑧その他



(2) 新型コロナウイルス感染拡大の影響による生活課題はどのようなものがありますか。

- ①外出機会が減少した
- ②生活必需品の購入が困難になった
- ③受診ができなくなった
- ④人と会う機会が減少した
- ⑤経済的に苦しくなった
- ⑥特になし
- ⑦その他



3 まとめ

●介護支援専門員への影響

モニタリングやサービス担当者会議は「利用者と対面せずにケアマネジメント業務を行うには限界があり十分な情報収集、伝達が困難であった」という声が多く聞かれました。また、できる限りのケアマネジメント業務を実施したにも関わらず結果的にサービス実績がなくケアプラン料の請求ができなかったという声も多くありました。（5月提供分から請求可能となりました。※介護保険最新情報vol.836 問5）

●利用者への影響

外出機会や人との接触機会の減少による「身体機能の悪化」「精神的不安定」が圧倒的に多くなりました。また、外出自粛による家族負担の増大も懸念事項として挙げられます。



お忙しい中調査にご協力いただきありがとうございました。
感染症の対応については留意しつつ、これからの季節は熱中症にも注意していきましょう。
支援者の皆様も、適宜マスクを外す、こまめな水分補給を行うなど十分な対策をお願い致します。